

埋蔵文化財展示室更新の基本方針

1 展示室更新のコンセプト

埋蔵文化財展示室の役割は、埋蔵文化財展示室に求められる3つの機能を通して、「札幌の埋蔵文化財」を広く市民に知ってもらうこと、さらに、「札幌の埋蔵文化財」を通して「札幌の歴史」を広く市民に理解してもらうことと言えます。

この役割を果たすために、下記の3つの展示を目指すことを、更新のコンセプトとします。

- ①最新の発掘調査成果の展示を行います。
(アイヌ文化期の出土資料を新たに展示)
- ②旧石器時代からアイヌ文化期までの通史展示を行います。
- ③収蔵資料を活かし可変展示を取り入れます。

2 対象とすべき利用者

対象とすべき主な利用者は、埋蔵文化財展示室に求められる機能で示したとおり、ひろく市民となりますが、観光都市を目指す札幌市の公共施設として、国内外の観光客向けの情報発信にも考慮する必要があります。

また、小学校高学年以上の児童・生徒が理解できる展示を心がけます。

3 展示構成

展示の構成要素としては、以下の内容が考えられます。

- ・収蔵資料を活かしたテーマ展示
- ・札幌の埋蔵文化財をわかりやすく紹介するガイダンス展示
- ・最新の発掘調査成果を取り入れた、旧石器時代からアイヌ文化期までの通史展示
- ・札幌における埋蔵文化財保護の歴史や仕事を紹介する展示
- ・小学校高学年以上の児童・生徒を対象とする歴史教育や校外学習の場としての体験コーナーの設置

4 展示手法

前項の展示を構成する展示手法については、下記の点を考慮する必要があります。

- ① 最新の情報を発信できるように、可変性の高い展示手法を取り入れます。
- ② 木製品や金属製品などの展示資料の希少性・耐久性に配慮した展示手法を充実させます。
- ③ 展示室の狭さや収蔵資料の不足を補うために、他の博物館・資料館との連携を考慮します。
- ④ 児童・生徒が主体的に学習できる体験メニューの充実を図ります。
- ⑤ 外国語の表記を取り入れます。
- ⑥ 環境負荷を軽減できる展示手法を導入します。
- ⑦ ユニバーサルデザインに配慮します。

5 運営

埋蔵文化財展示室の運営については、下記の点を考慮する必要があります。

- ① 展示解説の内容や方法を工夫し、対象者に応じた解説メニューなどの充実に努めます。
- ② 中央図書館と併設された特徴を活かし、学校教育や生涯学習での相互利用の機会を増やして連携を深めます。